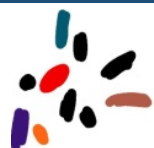


- シーニックバイウェイ北海道は、競争力のある美しく個性的な北海道を実現していくことを目的として、**民間団体・企業等**と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等地域資源を最大限活用し、**双方の資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成24年度より開始しました。**
- **北海道遺産**は、豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の**歴史や文化、生活、産業**など、**次の世代へ大切に引き継ぎたい有形・無形の財産**の中から**道民参加で選んだもの**(平成13年10月に第1回選定分25件、平成16年10月に第2回選定分27件、平成30年11月に第3回選定分15件、令和4年10月に第4回選定分6件と名称変更1件が選定され、**現在74件が選定**)
- **シーニックバイウェイ北海道ルートに関連する遺産：41件**
稚内港北防波堤ドーム(稚内市)、天塩川、旭橋(旭川市)、小樽みなとと防波堤(小樽市)、昭和新山雪合戦(壮瞥町)、五稜郭と箱館戦争の遺構(函館市)、旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群(上士幌町)など

今回の協定の概要

NPO法人北海道遺産協議会



北海道遺産
Hokkaido Heritage

- 2001年の発足以来、地域の担い手・企業・行政と連携した遺産の保全活用の取組み
- 地域を支援する仕組み(「ほっかいどう遺産WAON」)
- 道内外の専門家等ネットワーク



稚内港北防波堤ドーム



天塩川



旭橋



小樽みなとと防波堤

シーニックバイウェイ北海道



- 北海道の景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった推進体制
- 全国的なネットワーク(日本風景街道)等



地域資源を活かした取組



多様な主体の連携による取組

包括連携協定に基づくより一層の連携した取組により北海道の地域の未来に貢献

連携テーマ

- PR: それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う(イベント時の連携等)
- 教育: 子供たちが地域の成り立ち(地域遺産、インフラ等)を学ぶ学習機会の提供※
- 観光: インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組